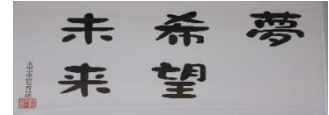


3学年だより



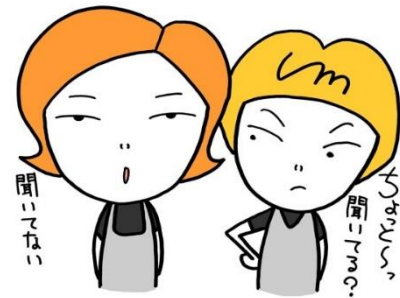
新潟市立大形中学校
3学年だより No.84
令和元年9月2日発行
文責:立川 宏

一歩

大空祭の集まり

先週木曜日に、大空祭の選抜リレーメンバーの集まりがありました。当初の予定では、補員を含む選手全員が集まる予定でした(昼の連絡放送もありました)。しかし、集合場所の武道場に行くと、補員が来てない連合がいくつかありました。

原因は何でしょうか。みなさんの授業や学校生活のようすを見てみると、「記憶」が苦手な人もいますが、「聞き方」に問題があるため、「聞き漏らし」や「適当に聞き流している」と思われる人もいます。話を「適当に聞き流している」人は、その後隣の人などに聞き直しているのです。中には、話があった直後に毎回のように先生のところに行き、「私、行けばいいですか」と自分がやらなければいけないか否かを毎回聞き直すのです。



聞いていても「行動に移せない」「行動しない」人もいます。自分の勝手な判断や、自分中心の誤った価値基準により、他の人と一緒に行動する機会を無視しているかのように見えます。

全校や連合が、ひとつにまとまり活動するために、「話を聞く」「行動できる」ことがとても大切になります。

連合活動 目指す姿

金曜日から、大空祭の連合活動が始まりました。各連合、初日を終えてどうだったでしょうか。連合がひとつにまとまり、大きな声を出せるようになったり、ピタリとそろった美しい振り付けを身につけるには練習が必要です。

練習時のリーダーの姿で、連合の応援のまとまりや出来具合に差が出ることもあります。前に出たリーダーが指示を出すときに「隣の人にやることをいちいち確認」してから指示を出す人がいます。自分が指示することの最終確認を、指示を出す直前におこなっているのです。これは、周りから見ると「自信のなさそうな姿」に見えます。そのようにならないために、リーダーは、夏休み前、夏休み中、先週と準備活動をしてきました。みんなの前で、緊張せず、堂々と話をするのは、準備で起こりうるトラブルや緊張感をどれだけ多く予測し、リハーサル活動をしてきたか、あるいはこれまでにそのような経験があるかにも左右されます。

自分たちの連合がその日にやる内容だけでなく、最終的にどのようなものに仕上げたいのか最終的な「目指す姿、形」が理解できていたり、連合が毎日の練習で「目指す姿」が理解できていると、リーダーの言葉や姿にブレがなく、リーダーに付いていく連合の生徒にとってもわかりやすく、高い安心感があります。





全体の前に立ったら、「凧(りん)」とした立ち姿で、「わかりやすい」内容を、みんなに通る「大きな声」で指示を出すようにがんばってください。最初はうまくいかないこともあるでしょうが、リーダーとしても連合としても成長することを願っています。

リーダーへの協力とは

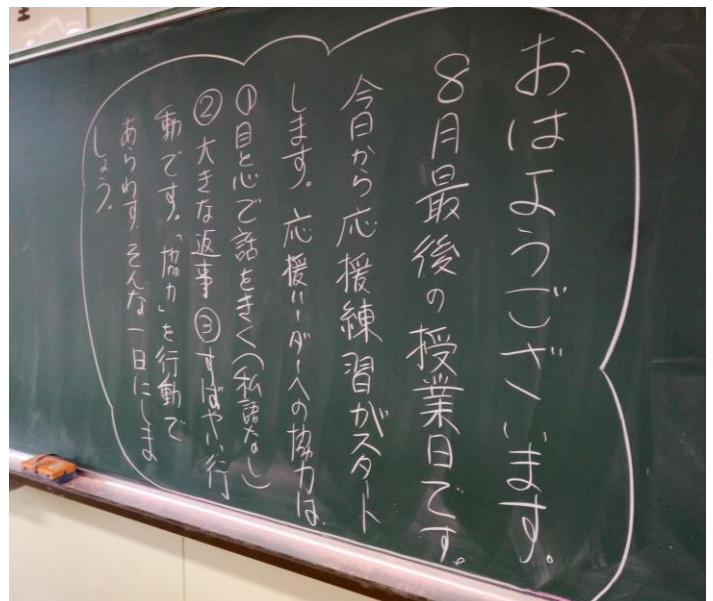
下の写真は、3の4の教室に、毎朝書かれている学級生徒への学級担任からのメッセージ(8月30日(金)版)です。黒板にも書かれていますが、リーダーへの協力は、

- ①目と心で聞く (私語なし)
- ②大きな返事
- ③すばやい行動

です。

「協力」とは、『協』という字が「力と力と力」という「3つの力」を「足す(+)」と書きます。「3つ」は「多く」を表しますから、「多くの力を合わせる」能力が「協力」という言葉なのだと思います。

- ① (私語なく)目と心で聞き、
 - ② 大きな返事をし、
 - ③ 素早い行動をおこなう「協力」
- ができていますか？
あなた自身はどうですか？
連合としてはどうですか？



↑ 8/30(金) 3の4 朝の黒板メッセージです